



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 株式会社 岡本工作機械製作所

上場取引所 東

コード番号 6125 URL <http://www.okamoto.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石井 常路

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 高橋 正弥 TEL 027-385-5800

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	13,742	26.0	797	117.9	695	414.5	514	707.6
29年3月期第2四半期	10,909	12.1	366	17.2	135	64.3	63	64.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 756百万円 (%) 29年3月期第2四半期 636百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	116.20	
29年3月期第2四半期	14.38	

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	29,158	10,046	34.5	2,270.53
29年3月期	28,273	9,470	33.5	2,139.79

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 10,046百万円 29年3月期 9,470百万円

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		4.00	4.00
30年3月期		2.00			
30年3月期(予想)				30.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は3円となり、1株当たり年間配当金は5円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	17.9	1,600	40.4	1,350	75.7	1,100	90.5	248.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	4,717,895 株	29年3月期	4,717,895 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	293,326 株	29年3月期	292,163 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	4,425,288 株	29年3月期2Q	4,427,261 株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月29日開催の第118期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金 第2四半期末 2円00銭(注) 期末 3円00銭 年間配当金合計 5円00銭

2. 平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 24円85銭

(注) 第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払われます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	10
受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、先進国を中心に緩やかな景気回復基調が続きました。米国では個人消費主導の景気回復が持続しており、欧州でも地政学的リスクの顕在化懸念など、先行きに不透明感があるものの、緩やかな回復傾向で推移いたしました。また、アジアでは北朝鮮動向など懸念材料が浮上しましたが、中国において設備投資の回復による持ち直しの動きが続き、その他の新興国も一定の成長を維持いたしました。

日本経済は円安・株高が継続しており、輸出関連企業を中心に企業業績は堅調に推移し、個人消費に力強さは欠けるものの、安定した回復をみせております。

このような状況の中で当社グループは、中期経営計画「Mission GX 2019」の2年目として、海外販売拠点の増強やQCD改善活動等によるコストの削減などを進め、グループの総合力を駆使して、業績向上に努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は13,742百万円（前年同期比26.0%増）、営業利益は797百万円（前年同期比117.9%増）、経常利益は695百万円（前年同期比414.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は514百万円（前年同期比707.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①工作機械

国内市場におきましては、工作機械業界や半導体関連装置業界向けに大型研削盤や高精度タイプの研削盤、ロータリー研削盤などの需要が高まり、売上高は前年同期を上回りました。また受注につきましても、半導体関連装置部品や、ハイブリッド自動車関連の精密金型、および航空機部品等の業種を中心に前年同期を大きく上回る結果となりました。

海外市場におきましては、米国では航空機や自動車部品などを中心に、販売、受注共に堅調に推移いたしました。欧州では、需要は安定しており、フランス、イタリアなどのラテン諸国で汎用タイプ研削盤の受注が増加いたしました。しかしながらロシアでの受注低迷の影響を受け、売上高は前年同期を下回りました。アジアにおきまして、中国は電気部品向け精密金型や自動化設備などへの投資需要が旺盛で拠点増強の効果もあり、売上、受注共に前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は11,069百万円（前年同期比16.1%増）、セグメント利益（営業利益）は650百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

②半導体関連装置

半導体市場におきましては、携帯情報端末の高機能化や自動車の電装化率向上などを背景に、回復基調が継続いたしました。半導体関連装置の需要につきましても、ウェーハ、デバイス生産メーカーによる増産対応などの設備投資を中心に、国内外で好調に推移いたしました。

そのような状況の中で、当社グループは、ポリッシュ装置の重点販売、次世代パワー半導体用各種装置の拡販などの施策を進めた結果、海外では中国及び東アジアを中心に、ウェーハ生産用のファイナルポリッシャーやグラインダー、デバイス生産用にバックグラインダーなどの販売が、高水準で推移いたしました。国内でも、ウェーハ生産用のファイナルポリッシャーや、材料メーカー向けにラップ盤の販売が好調でした。

受注におきましても、ウェーハ需要の回復に伴って、ファイナルポリッシャーや、電子部品生産用のグラインダーを受注するなど前年同期を大きく上回る結果となりました。

以上の結果、売上高は2,673百万円（前年同期比94.5%増）、セグメント利益（営業利益）は573百万円（前年同期比292.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して884百万円増加し、29,158百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が153百万円減少した一方で、現金及び預金が328百万円、たな卸資産が492百万円、有形固定資産が192百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比較して309百万円増加し、19,112百万円となりました。主な要因は、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が1,102百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が899百万円、賞与引当金が147百万円、その他流動負債が325百万円増加したことによるものであります。

また、純資産は、前連結会計年度末と比較して575百万円増加し、10,046百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上514百万円であります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の33.5%から34.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して430百万円増加し、3,736百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、2,376百万円（前年同期は1,629百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益695百万円、減価償却費587百万円、仕入債務の増加863百万円により資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、542百万円（前年同期は346百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出628百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1,457百万円（前年同期は1,219百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,223百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、平成29年5月15日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,699	4,027
受取手形及び売掛金	7,661	7,508
商品及び製品	1,720	1,806
仕掛品	2,364	2,694
原材料及び貯蔵品	2,387	2,463
その他	425	455
貸倒引当金	△25	△48
流動資産合計	18,233	18,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,926	3,902
機械装置及び運搬具（純額）	2,291	2,329
その他（純額）	3,315	3,493
有形固定資産合計	9,533	9,725
無形固定資産	97	82
投資その他の資産		
投資有価証券	103	113
その他	376	364
貸倒引当金	△70	△35
投資その他の資産合計	409	442
固定資産合計	10,040	10,250
資産合計	28,273	29,158
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,523	3,423
短期借入金	7,327	7,360
1年内返済予定の長期借入金	2,075	1,662
未払法人税等	101	167
賞与引当金	263	410
製品保証引当金	39	38
その他	1,463	1,788
流動負債合計	13,793	14,851
固定負債		
長期借入金	3,541	2,852
退職給付に係る負債	493	449
資産除去債務	127	125
その他	846	833
固定負債合計	5,009	4,260
負債合計	18,803	19,112

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,880	4,880
利益剰余金	6,493	6,830
自己株式	△1,358	△1,361
株主資本合計	10,015	10,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16	22
為替換算調整勘定	△698	△460
退職給付に係る調整累計額	136	134
その他の包括利益累計額合計	△544	△303
純資産合計	9,470	10,046
負債純資産合計	28,273	29,158

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	10,909	13,742
売上原価	7,630	9,567
売上総利益	3,278	4,175
販売費及び一般管理費	2,912	3,377
営業利益	366	797
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	1	1
助成金収入	16	16
物品売却益	6	8
為替差益	—	15
その他	23	18
営業外収益合計	50	61
営業外費用		
支払利息	139	131
支払手数料	47	10
為替差損	68	—
その他	24	21
営業外費用合計	281	163
経常利益	135	695
特別利益		
固定資産売却益	33	—
特別利益合計	33	—
税金等調整前四半期純利益	168	695
法人税等	104	181
四半期純利益	63	514
親会社株主に帰属する四半期純利益	63	514

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	63	514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	6
為替換算調整勘定	△700	237
退職給付に係る調整額	△0	△1
その他の包括利益合計	△700	241
四半期包括利益	△636	756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△636	756

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	168	695
減価償却費	588	587
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△60	△52
賞与引当金の増減額 (△は減少)	58	142
受取利息及び受取配当金	△3	△2
支払利息	139	131
支払手数料	47	10
為替差損益 (△は益)	56	△22
固定資産売却損益 (△は益)	△33	-
売上債権の増減額 (△は増加)	1,491	245
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△486	△354
その他の資産の増減額 (△は増加)	25	△49
仕入債務の増減額 (△は減少)	16	863
その他の負債の増減額 (△は減少)	△89	399
その他	△19	16
小計	1,901	2,611
利息及び配当金の受取額	3	2
利息の支払額	△141	△133
法人税等の支払額	△187	△124
法人税等の還付額	53	19
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,629	2,376
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△175	△144
定期預金の払戻による収入	232	247
有形固定資産の取得による支出	△381	△628
その他	△20	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△346	△542
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	82	△34
長期借入れによる収入	400	100
長期借入金の返済による支出	△1,421	△1,223
社債の償還による支出	△100	-
セール・アンド・リースバックによる収入	71	-
リース債務の返済による支出	△48	△91
手数料の支払による支出	△43	△5
配当金の支払額	△132	△174
その他	△26	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,219	△1,457
現金及び現金同等物に係る換算差額	△175	54
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△112	430
現金及び現金同等物の期首残高	3,510	3,305
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,398	3,736

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,535	1,374	10,909	—	10,909
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,535	1,374	10,909	—	10,909
セグメント利益	623	146	769	△403	366

(注) 1. セグメント利益の調整額△403百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,069	2,673	13,742	—	13,742
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,069	2,673	13,742	—	13,742
セグメント利益	650	573	1,224	△426	797

(注) 1. セグメント利益の調整額△426百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

(1) 受注状況

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
工作機械	13,281	133.1	7,021	147.2
半導体関連装置	7,974	593.5	7,143	1,188.5
合計	21,255	187.7	14,164	263.7

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同期比 (%)
工作機械	11,069	116.1
半導体関連装置	2,673	194.5
合計	13,742	126.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。